

ロス対策士の皆さん

ロス対策士コミュニティのお知らせ

フェイスブックに「ロス対策士コミュニティ」を設けました。フェイスブックのアカウントをお持ちの方は、是非ご参加ください。

<https://www.facebook.com/groups/919653045344673>

特定非営利活動法人全国万引犯罪防止機構
LP教育制度作成委員会

工業会 日本万引防止システム工業会 (JEAS) では、小売業のロス対策・防犯担当者向けに、毎月2回、ロス対策メルマガを発行されています。ロス対策セミナー情報、ロス対策年間チャートや店内防犯放送サンプル、国内外の最新ロス・プリベンション情報などを無料でゲットできます。担当者だけでなく多くの小売業TOPが登録されているということです。詳しくはこちらをご覧ください。

また6月にロス対策士検定試験に合格したお二人の方を紹介します。

ロス対策メールマガジンの案内・登録・バックナンバー

<https://www.jeas.gr.jp/mail.html>

今後の配信予定 >>>

◇08/24 VOL.31

セルフスキャンレジのロスをどうコントロールするか

◇09/14 VOL.32

高ロス率商品に対するレジからの監視性確保による万引き抑止効果の検証

◇09/28 VOL.33

ウォルマートのロス・プリベンションのポリシーと対策手順

◇10/12 VOL.34

脚立等の高所作業の安全対策&万引防止システムのセルフチェックのお願い

◇10/26 VOL.35

6月1日公益通報者保護法の改正法 が施行 ～施行で見た落とし穴・留意点～

宮武信一さん

今年71歳になる北海道石狩管内に在住の宮武さんは、(宮武さん、歳の話から入りごめ

んなさい) この6月のロス対策士検定試験で見事に合格されました。

60歳を過ぎて複数の新聞を購読するようになった宮武さんは、新聞の経済欄を読むうちにわからない言葉が多くあったので、それを理解するために5年間経済欄の必要と思われる記事を切り抜きして貼り付け手製の本をつくったそうです。そんな勉強家で好奇心旺盛の宮武さんがロス対策士に興味を持ったのは勤めているエイジス北海道の社内報にあった記事です。

早速、万防機構に電話をしてみました。受験するにはネット環境が必要ということがわかりました。その環境がない宮武さんに対して万防機構のLP委員会を通して既に数名がロス対策士資格を取得しているエイジス北海道が受験場所を提供してもよいとの知らせを受けました。

実はこの時点で万防機構事務局側も、また快く受験できるように計らっていただいたエイジス北海道の担当者も宮武さんがエイジス北海道で仕事をしていることを知りませんでした。調べてみるとエイジス北海道でアルバイトスタッフとして、商品補充の仕事をしていることがわかりました。

無事受験もでき、そして晴れてロス対策士となった宮武さんは言います。「受験場所そしてパソコンまで用意していただいた佐藤友助社長、そして札幌第二DO（ディストリクト・オフィス）の方々には本当に感謝しています。そしてこのことだけは絶対に書いてください。」

宮武さんは、同僚の方々にもロス対策士検定試験の宣伝をしています。そしてロス対策士の証であるLPJバッジを胸に商品陳列の仕事を一生懸命にそして楽しく取り組んでいるそうです。

宮武さんは言います。「わかったふりをするのでは通用しません。本当に知識があるかどうかを証明するのが資格を取得することだと思います。」「若いふりはしません。本当に若くなければ。」年齢に関係なく、学ぶことの楽しさ、大切さ、そして若々しさを体現しているそんな宮武さんは素敵だなと思います。

宮川洋一郎さん

宮川さんは熊本市にある創業130年を超える書店、長崎書店の店長です。長崎書店に勤めて十年余りです。以前名古屋市の大型書店での勤務経験もあり、地元である熊本に戻り現在の仕事に就いたそうです。

よく読む本は、園芸や料理などの実用書、他に講談社のブルーボックスです。園芸と料理は宮川さんの趣味でもあり、草花や野菜などの栽培、餃子をつくるなど料理もよくするそうです。

本はどこで買っても一緒です。(注：本は再販制度＝定価販売制度により定価で販売することとなっています) ですからどうしたらわが店で買ってもらえるかをいつも考えています。品揃えや接客に力を入れることは勿論のこと、長崎書店オリジナルのブックカバー、支

払い方法の利便性などに加えて、店舗に併設されているギャラリーを利用して著者による新刊記念トーク&サイン会、絵本の原画展示会といったイベントを開催するなどして差別化に取り組んでいます。またSNSで、イベントの案内、新刊書籍、新作雑貨、雑誌の特別コーナーの紹介など頻繁にアップデートして情報発信に取り組んでいます。

(<https://www.facebook.com/nagasaki-shoten/>)

ロス対策については、特に万引を更に減らしていきたいのですが、そのためには実際の在庫とあるべき在庫との差を求める必要があります。それは仕入れ伝票を調べ集計したりするなどなかなか大変な作業です。しかし、それを行わないとロスがわかりません。その結果をもとに、特に問題のありそうなところを調べることになります。

実際のところ万引犯を捕捉することは大変難しいです。高額な本がいつの間にか棚からなくなっているなどを発見することもあります。中には親に付き添われた子供が謝罪に来るそうです。こんなことを少しでもなくしていかなくてはと思う宮川さんです。